

個別施策管理シート 対象事業年度 平成 24 年度

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	総合開発担当部長 企画調整室長 関連事業担当部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	13 人々の交流の場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者
	サービスの対象物(何を)	ガーデンふ頭及び金城ふ頭
	意図(どういった状態にしたいのか)	人々が交流し、賑わいのある場となる
内容	ガーデンふ頭では、名古屋港水族館など人々が賑わい親しまれる港づくりを進めているとともに、金城ふ頭では駅周辺において、商業・娯楽施設を誘致し交流拠点の形成を進めています。今後も再開発を進め、人々が交流し、賑わいのある場となるようにしていきます。	
目標	ガーデンふ頭地区及び金城ふ頭地区の施設がより多くの人々に利用されるようにします。	目標達成に影響する外的要因等 景気変動による来港者数減

成果指標	年度 実績等	H20	H21	H22	H23	H24	目標 H24	指標の説明(式)	
		実績	万人	248	224	222	225		241
達成率	%	95.4	86.2	85.4	86.5	92.7			
金城ふ頭施設利用者数	実績	万人	64	65	70	74	61	88	本組合貸付地施設のみ
	達成率	%	72.7	73.9	79.5	84.1	69.3		

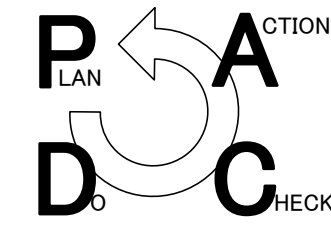
2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 (年度)	平成24年度実施事業に基づく評価結果					
					実績	実績	実績見込み		平成24年度 末までの 状況 ※1	平成25年度以降の取組の方向性	備考(判断の理由・目標年次の変更等)			
					上段: 指標達成状況				事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4			
	(企画調整室)計画担当	交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)(個13事01)	名古屋港における交流施設の現状分析を行い、他の施設計画との整合と取りながら、交流空間の更なる拡充に向けた施設配置の検討を行います。	策定進捗率(%)	34.0	38.0	50.0	100 累計 (H25)	やや遅れ	継続	→	→	環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に取り組むため。	
	(建設部)金城・南5区開発担当	モノづくり文化交流拠点形成の支援(個13事02)	名古屋市が金城ふ頭にて推進しているモノづくり文化交流拠点形成の推進を支援し、関係機関と調整を行います。	モノづくり文化交流拠点の整備面積(ha)	5.1	5.1	5.1	8.3 累計 (-)	順調	継続	→	→	モノづくり文化交流拠点形成の要請が高く、引き続き拠点形成の推進に向け支援、調整を行うため。	
	(港営部)関連事業担当	名古屋港水族館の管理運営(個13事03)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良い維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入館者数(万人)	176	179	199	200 (継続)	順調	継続	↗	→	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を実現するため。	
	(港営部)関連事業担当	名古屋港ポートビルの管理運営(個13事04)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良い維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入場者数(展望室、海洋博物館及び南極観測船ふじ)(万人)	46	46	42	60 (継続)	やや遅れ	継続	↗	→	目標値には達成していませんが、コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入場者数を実現するため。	
	(港営部)関連事業担当	名古屋港湾会館の管理運営(個13事05)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良い維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	会議室の利用率(%)	48	41	44	43 (継続)	順調	継続	↗	→	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の利用率を実現するため。	
	(建設部)再開発担当	ガーデンふ頭再開発事業の推進(個13事06)	平成19年度に改訂した「築地ポートタウン計画」で掲げた将来像”市民に親しまれる港””世界につながる交流拠点””個性のある港まちづくり”の実現に向けて、ガーデンふ頭において、必要な機能、施設等の整理を行うとともに、民間事業者の進出を前提とした事業化方策を検討し、賑わいの創出を図っていきます。	東地区の事業化手続き進捗状況(工程)	0.5	1.5	2.5	5 累計 (H26)	遅れ	継続	↗	↗	東地区を含めたガーデンふ頭再開発の事業化に向けた取り組みをさらに重点的に進めていくため。	
	(建設部)再開発担当	本庁舎等整備事業【再掲】(個13事07)	地震・津波などの緊急時において防災・危機管理の拠点となるべき本組合本庁舎の耐震性能を向上させるとともに、港湾会館を合築することについてPFIの事業手法を用いて、港まちづくりを推進していくものです。	事業進捗率(%)	100 (3,199,769)			100 累計 (H22)						【本掲】「21防災対策を強化する」(個21事08)にて評価
	(建設部)金城・南5区開発担当	金城ふ頭駅前開発事業の推進(個13事08)	金城ふ頭開発事業の残る駅前開発用地の活用を行います。	駅前開発用地の土地活用件数(件)	1	0	1	1 (H24)	順調	延伸	→	→	金城ふ頭の交流拠点形成のため、名古屋市の開発と連携し、さらに開発を進める必要があるため。	
	(建設部)金城・南5区開発担当	金城ふ頭既存立地施設の利用支援(個13事09)	立地施設の事業者の要望等を聞いて調整を行います。(22年度に事務事業名を金城ふ頭開発施設の利用促進から変更しました。これは、駅前開発事業やモノづくり文化交流拠点形成支援などと差別化を図るためです。)	誘致施設の利用者数(万人)	70	74	61	88 (継続)	やや遅れ	継続	↗	→	利用者数は減少していますが、今後も立地企業者との連携会議等により、相互の連携を図っていく必要があるため。	
				施策コスト(事業費合計)	116,842	93,745	342,250							

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として24年度の中間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

平成25年度以降の取組の方向性		平成25年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
区分	成果※3	コスト※4	
拡大維持縮小	↗	↗	・親しまれる港づくりを進めるためには、交流の場の充実が重要であり、今後もより多くの人々が来港し、親しめるような施策や事業展開を図るため、成果、コストとも拡大しますが、厳しい財政状況を勘案し、効率的なコストの運用に努めます。



3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

前年度の評価結果を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> ガーデンふ頭の再開発については、開発区域を広げた与条件を示して意向調査を行った結果、一部の国有地による民間建物の建築制限解消の必要性が分かったため、民間事業者が進出しやすい条件や開発の方向性を検討していく必要があります。 交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)については、計画素案の検討を行いました。引き続き25年度の改訂を目途に、着実に取り組んでいく必要があります。 金城ふ頭については、既存施設の来場人数が減少しているなか、開発を促進していく必要があるため、名古屋市の進める大規模集客施設の開業に向け、引き続き名古屋市と連携して関係者と調整を行っていく必要があります。 水族館において新たな生命が誕生し、順調に成長しており、その活用とPRをしていく必要があります。 政策体系として評価を行うことが適さない日常業務については、次期政策体系の策定において見直しが必要です。 	
構成事務事業の適正性(構成される事務事業で個別施策の目標を達成できているかどうか。できていない場合は改善策を記入)	
・事務事業は概ね妥当と考えます。	

個別施策13